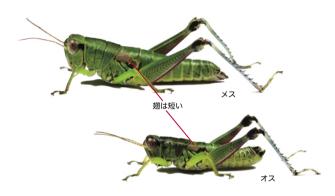


ダイリフキバッタ Callopodisma dairisama





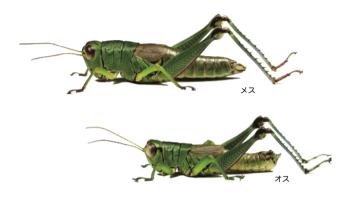
葉上でたたずむ 兵庫県豊岡市 2013年8月

高原の草地、スキー場、キャンプ場のような開けた場所にすむ。分布はかなり局所的で見つけるとうれしいバッタの1つ。体長♂20~22mm、♀26~30mm。7月~9月に成虫。本州(東海、近畿地方中部と北西部、中国地方東部)に分布。





ヤマトフキバッタ Parapodisma setouchiensis





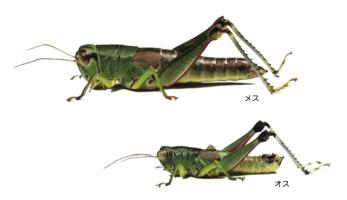
交尾中 兵庫県洲本市 2013年8月

林の縁から畑のわきのクズが生えているような場所にすむ。淡路島では最もふつうに見られるフキバッタ。体長 σ 22 \sim 28mm、 \mathfrak{P} 27 \sim 38mm。8月 \sim 11月に成虫。本州、四国、九州;中国、朝鮮半島に分布。





オマガリフキバッタ Parapodisma tanbaensis







朽ち木に産卵中 兵庫県三田市 2009年10月

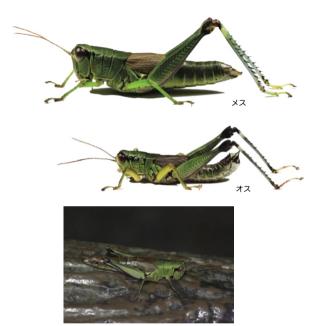
林の縁にすむ。フキ、アザミ、アジサイなどの 葉の上でよく見つかる。体長 32~30mm、 ♀30~35mm。8月~11月に成虫。本州(福 井西部、滋賀、京都、大阪北部、兵庫東部)に 分布。





ヒョウノセンフキバッタ

Parapodisma hyonosensis hyonosensis



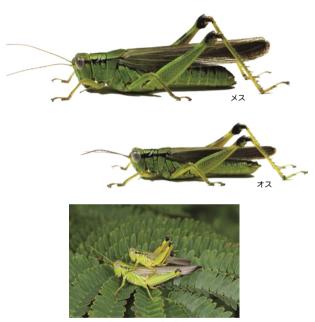
キビフキバッタ メス 兵庫県姫路市 2006年10月 市川憲平氏撮影

林の縁にすむ。播磨西部に分布するキビフキバッタ (Parapodisma hyonosensis kibi) はヒョウノセンフキバッタの亜種とされている。体長 3 20 2 28mm、2 26 3 38mm。8月1 月に成虫。本州 (京都西部、兵庫、岡山東部、鳥取東部) に分布。





ハネナガフキバッタ Ognevia longipennis

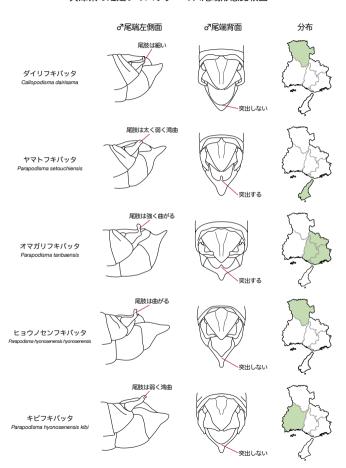


葉上で交尾中 兵庫県豊岡市 2013年8月

山地の草地や背の低い木の林にすむ。体長(翅端まで)♂20~30mm、♀24~40mm。7月~10月に成虫。北海道、本州、四国、九州;旧北区中部~東部、サハリン、朝鮮半島に分布。



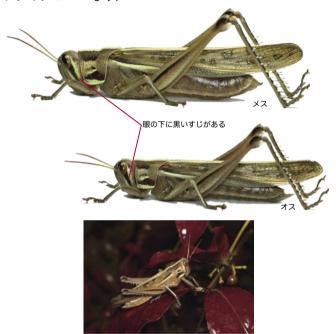
兵庫県の短翅フキバッタ オス尾端形態比較図





ツチイナゴ Patanga japonica





晩秋の雨にうたれる 兵庫県三田市 2010年10月

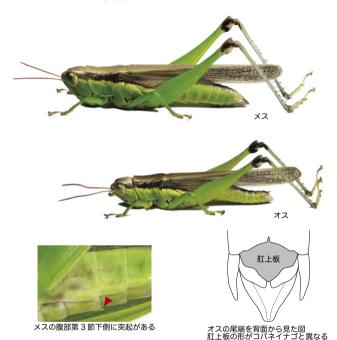
クズが生えているような場所にすむ。秋に成虫になり、そのまま冬を越す。体長 (翅端まで) 3 50 5 50 5 50 5 70 5



バッタ科 Acrididae



ハネナガイナゴ Oxya japonica

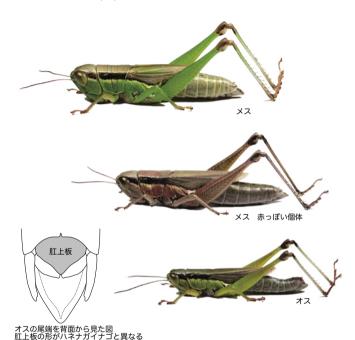


少し湿った草地にすむ。よく飛ぶ。兵庫県での分布は局所的。体長 (翅端まで) 3 17 3 17 3 20 4 40mm。8月4 10月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島に分布。





コバネイナゴ Oxya yezoensis



田んぼや池、沼の周り、林の縁にすむ。佃煮や素揚げにするとおいしい。体長♂16~33mm、♀18~40mm。8月~11月に成虫。 北海道、本州、四国、九州に分布。



セグロイナゴ亜科 Evprepocnemidinae

セグロイナゴ Shirakiacris shirakii







複眼に縞模様がある

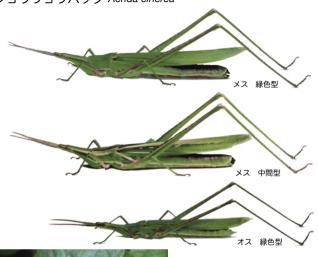


よく茂った草地にすむ。生息地ではたくさん見 られるが、分布は局所的。色合いが渋くてかっ こいい。体長(翅端まで)♂35mm、♀26~ 40mm。8月~11月に成虫。本州、四国、九 州、南西諸島; ロシア極東地方南部、中国東北 部、朝鮮半島、台湾に分布。



ショウリョウバッタ亜科 Acridinae

ショウリョウバッタ Acrida cinerea





褐色型のメス 兵庫県篠山市 2013年7月 大塚剛二氏撮影

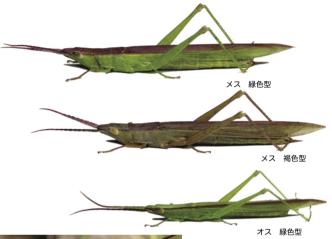
明るい草地や公園にすむ。とても大きなバッタ。オスは飛ぶときにチキチキ ... と音を出す。体長(翅端まで) $3 40 \sim 50$ mm、 $275 \sim 80$ mm。 $8月 \sim 11$ 月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島; ロシア東部、中国、朝鮮半島に分布。



バッタ科 Acrididae

ショウリョウバッタ亜科 Acridinae

ショウリョウバッタモドキ Gonista bicolor



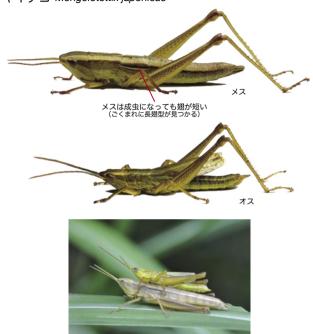
チガヤにそっくり 兵庫県三田市 2008年10月 八木剛氏撮影

チガヤなどのイネ科植物の草原にすむ。体長(翅端まで)♂27~35mm、♀45~55mm。8月~11月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島;中国、台湾、東南アジアに分布。





ナキイナゴ Mongolotettix japonicus

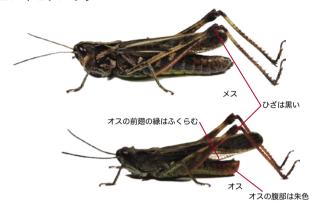


兵庫県豊岡市 2013年6月 植田義輔氏撮影





ヒロバネヒナバッタ Stenobothrus fumatus









林の縁の草地にすむ。オスはジュージュルルル …と鳴く。体長(翅端まで)♂23~28mm、 ♀ 25 ~ 30mm。7月~11月に成虫。北海道 (南部)、本州、四国、九州に分布。





タ画科 Gomphoceringe

ヒナバッタ亜科 Gomphocerinae

ヒナバッタ Glyptobothrus maritimus maritimus



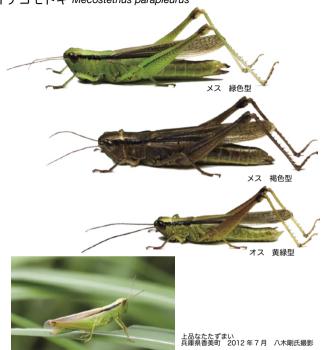
日当たりのよい草地にすむ。オスはジュルルル …と鳴く。体長(翅端まで) ♂ 19~23mm、 ♀ 25~30mm。6月~11月に成虫。北海道、本州、四国、九州、南西諸島;ロシア極東地方、中国、朝鮮半島に分布。



バッタ科 Acrididae

トノサマバッタ亜科 Oedipodinae

イナゴモドキ Mecostethus parapleurus

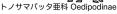


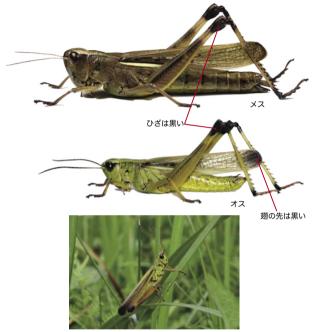
山地の草原にすむ。イナゴに似ているが、のどちんこ(前胸腹突起)は無い。どことなく上品な雰囲気のバッタ。とても小さな音で鳴くが気づかれない。体長(翅端まで)♂25~27mm、♀25~30mm。6月~9月に成虫。北海道、本州、四国、九州;旧北区全域に分布。





ツマグロバッタ Stethophyma magister





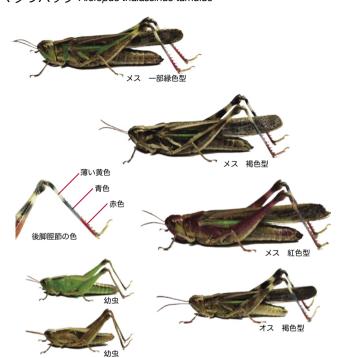
兵庫県神河町 2002年7月 八木剛氏撮影

背の高い草が茂る湿った草地にすむ。オスは後脚のかかとで翅をけってチャッ・チャッ…と鳴く。体長(翅端まで)♂33~42mm、♀45~49mm。7月~9月に成虫。北海道、本州、四国、九州;ロシア東部、中国、朝鮮半島に分布。



TITE Onding diago

トノサマバッタ亜科 Oedipodinae マダラバッタ Aiolopus thalassinus tamulus

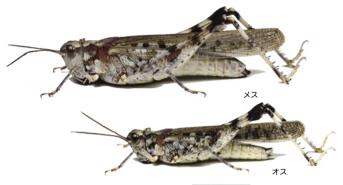


兵庫県内の分布域



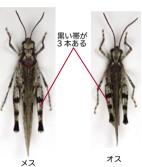
トノサマバッタ亜科 Oedipodinae

ヤマトマダラバッタ Epacromius japonicus









兵庫県内の分布域

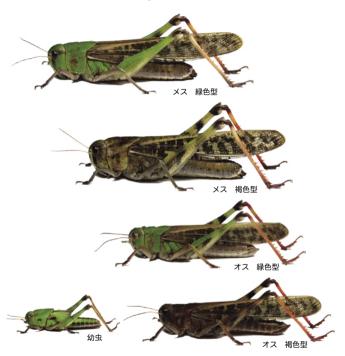
良好な環境の海岸の砂地にすむ。全国的に減っ ているバッタで、兵庫県内では淡路島の一部に 分布している。兵庫県版レッドリスト 2012、 A ランク。体長 (翅端まで) ♂ 30mm、♀30 ~35mm。8月~10月に成虫。北海道、本州、 四国、九州:朝鮮半島に分布。



バッタ科 Acrididae



トノサマバッタ Locusta migratoria





トノサマバッタの羽化



午後 2 時 50 分、羽化中のトノサマバッタ を発見



午後2時52分、後脚が抜けた



午後3時6分、体を起こして翅を伸ばす





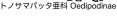
午後3時18分、翅が伸びてきた

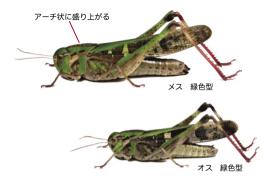


兵庫県香美町 2012年7月27日 近藤伸一氏撮影



クルマバッタ Gastrimargus marmoratus













郊外の草原にすむ格調高いバッタ。オスは飛ぶときにブルルルル ... という音を出す。体長(翅端まで)♂35~45mm、♀55~65mm。7月~11月に成虫。本州、四国、九州、南西諸島;中国、朝鮮半島、台湾、東南アジアに分布。

兵庫県内の分布域





トノサマバッタ亜科 Oedipodinae クルマバッタモドキ Oedaleus infernalis







荒れ地や草原にすむ。よく見かけるバッタの1つ。体長(翅端まで)♂32~45mm、♀55~65mm。7月~11月に成虫。北海道、本州、四国、九州;ロシア東部、モンゴル、中国東北部、朝鮮半島に分布。

兵庫県内の分布域





イボバッタ Trilophidia japonica



砂地にまぎれる 神戸市須磨区 2007年9月 八木剛氏撮影

地面が見える荒地や公園にすむ。体長(翅端まで)♂24~25mm、♀35~36mm。7月~11月に成虫。本州、四国、九州;中国北部、朝鮮半島に分布。





カワラバッタ Eusphigonotus japonicus

トノサマバッタ亜科 Oedipodinae











オス 赤みがかった個体

礫のある河原にすむ。青色の後翅が美しいバッタ。オス、メスともによく鳴く。兵庫県では1980年代以降見つかっていない。兵庫県版レッドリスト2012、Aランク。体長(翅端まで)♂25~30mm、♀40~43mm。7月~9月に成虫。北海道、本州、四国、九州に分布。

